

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月13日

計画の名称	伊賀市における未普及地域の解消計画													
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	伊賀市													
計画の目標	早期に下水道整備を実施することにより、下水道処理人口普及率の向上を推進し、生活排水などの原因による河川や排水路の水質汚濁の進行の防止を図り、「水環境の水質保全」「公衆衛生の向上」「生活環境の改善」を目指すため、下水道全体計画を策定する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		40	A	40	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)
1	伊賀市生活排水処理施設整備計画構想に基づく、伊賀市全域の下水道全体計画の策定を行う。 伊賀市下水道全体計画策定率(%) 下水道全体計画を策定した箇所数(箇所)/下水道全体計画の策定対象箇所数(1箇所)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊賀市	直接	伊賀市	管渠(汚水)	新設	効率的な事業実施のための基本的な計画検討 1-A-1	調査検討業務(下水道全体計画等) 1式	伊賀市						40		-	
												小計						40		
											合計						40			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

部局内において計画の妥当性等についての評価を受けた。

事後評価の実施時期

平成29年度事業を翌年に繰り越し、事業完了が平成30年度となったため、令和元年度に評価を実施する。

公表の方法

伊賀市ホームページの下水道コンテンツに掲載予定。

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

下水道全体計画の見直しを実施し、効率的に事業実施が出来るよう計画を見直すことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

当初計画により立案した伊賀市下水道全体計画に基づき、未普及地域における下水道の早期整備を目指す。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道全体計画を策定した箇所数（箇所） / 下水道全体計画の策定対象箇所数（1箇所）	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%